支援者コース



５．グループ討論

目的：支援者としての「あるべき姿」から「やるべき事」を考え、討論で出された意見や発表内容、他社との情報交換から、自社での具体的な支援計画を考える。

５．１ グループ討論のスケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日 | 時　間 | 内　　　　　　容 |
| 1  日  目 | 11:35～11:45  (10分) | グループ討論の進め方の説明　（チーフアドバイザー） |
| 11:45～12:00  (15分) | 自己紹介・ウォーミングアップ |
| 12:00～13:00  (60分) | 昼食　休憩 |
| 13:00～13:20  (20分) | グループの旗づくり（役割分担など） |
| 13:20～15:20  (120分) | 「支援者としてあるべき姿」の統一認識と重要行動ポイントの選定  （適宜休憩） |
| 15:20～16:40  (80分) | 情報交換会（各コース別） |
|  | 16:40～16:50  (10分) | 閉会 |
| ２  日  目 | 9:05～9:10  (5分) | 事務連絡（支援者コース全体） |
| 9:10～10:10  (60分) | 現状の姿と問題点(課題)の明確化  ※活動支援マトリックス表の作成 |
| 10:10～11:10  (60分) | 支援者として「やるべきこと（方策）」の洗い出し  ※活動支援マトリックス表の作成　（適宜休憩） |
| 11:10～12:00  (50分) | 活動支援マトリックス表の充実とまとめ |
| 12:00～13:00  (60分) | 昼食 休憩 |
| 13:00～13:30  (30分) | グループ討論のまとめと発表準備 |
| 13:30～14:50  (80分) | ＧＤ結果発表　講評（代表サークル選出） |
| 14:50～15:20  (30分) | 私のＱＣサークル推進計画書の作成  ※15:05～ コース別研修閉会あいさつ（会場世話人） |
| 15:20～15:25  (5分) | 会場移動 |
| 15:25～16:15  (50分) | 合同発表会　質疑応答　総評 |
| 16:15～16:25  (10分) | 閉会挨拶　アンケート記入　解散 |

５．２　自己紹介・ウォーミングアップ

１日目　11:45～12:00（時間：15分）

（1）進め方

①各グループに分かれ、アドバイザーのリードで自己紹介します。

参加券・卓上ﾈｰﾑﾌﾟﾚｰﾄ内に、自己紹介できるような情報交換項目が記載がありますので

参考にメモを活用して頂き、自己紹介をしてください。

業務内容、QCサークル関係や趣味等の紹介をするなど、お互いを知ってもらう時間にする。（3～4分/人程度）

②「ジェスチャーゲーム」の実施手順の説明と理解（チーフアドバイザーが説明します）

③配付された備品の確認を行います。

　　　お題の書かれた紙（A4サイズ）が入った封筒が机上に配付されています。

④出題をする順番を決めて机の横などの空いたスペースに並んでください。

　　　１番目の出題者は前に出て、回答者側を向いて立ち、マスクをしている場合は外してください。

　　　回答者と十分な距離を確保してください。

⑤チーフアドバイザーの指示で全グループ同時に「ジェスチャーゲーム」を実施(5分間）します。

（２） 「ジェスチャーゲーム」の内容

①回答者と出題者に分かれて、出題者が動く「動き」や「表情」を見てそれが何を表しているのかを答えるゲームです。

②ルール

◇ゲーム時間は5分間です。

各会場のチーフアドバイザーからの合図でスタートし、終了合図で止めてください。

時間経過･残り時間（３分、２分、１分）等をお知らせします。

◇アドバイザーは出題者の横に立って、出題者（動く人）にお題を見せます。

◇出題者はそのお題を見て声を出さずに、体の動きや顔の表情で「お題」を表現します。

皆さんに顔を見てもらうためにマスクは外してください。

◇回答者はそのジェスチャー（動き）を見て、何を表現しているのかわかったら、声に出して回答します。

◇正解が出るまで回答を続けます。正解が出た場合は、アドバイザーが「正解」と声を出して伝えます。

◇正解したら出題者は次の出題者に交代します。

◇30秒以上（アドバイザー補助者が計ります）正解が出ない場合は、出題者、回答者を交代　　　して次のお題を出します。

◇守らなくてはいけないこと

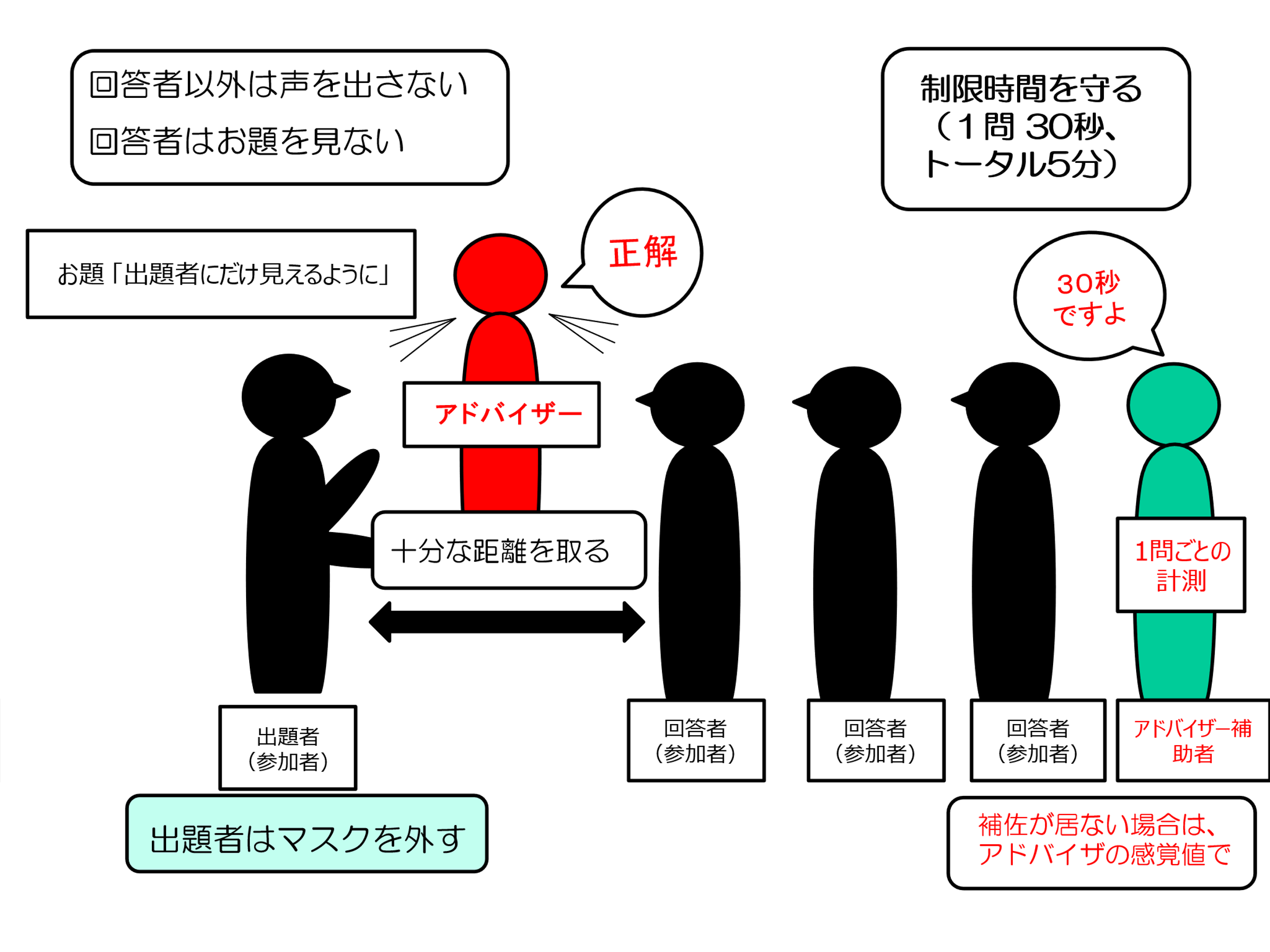
1. メンバーは声を出さない

2. 回答者はお題を見ない

3. 制限時間を守る（１問30秒、トータル5分）

4. 出題者と回答者は十分な距離をとる

【ジェスチャーゲーム　レイアウト】



５．３　グループの「旗」づくり

１日目 13:00～13:20(時間 20分)

これからのグループ活動を効果的に、かつ学びの多いグループにしていくために、全員の同意（コンセンサス）を得て、グループの ｢旗｣ づくりを行ってください。

(1) 役割分担を行う。

　　　リーダー、時間係、書記（１）、書記（２）、発表者、質問係、５Ｓ責任者など

(2) グループの決め事(指針・ルール)をつくる。

グループ討論を効果的に進めるための決め事を、具体的に行動レベル（守られているか、

否か、誰が見ても判断できること）で、３項目以上挙げる。

― 着眼点 ― ・意思決定は、どのようにするのか

・グループの運営の仕方は

・行動面での留意点は

・時間管理については など．

(3) グループのネーミングをする。

自分たちのグループの特徴を表わすユニークなグループ名を付ける。

(4) グループのシンボルマークをつくる。

会社に社章があるように、グループの特徴に合ったシンボルマークを考える。



（グループ意志決定の際の注意事項）

①結論・方向づけは原則として、全員一致で決定すること。

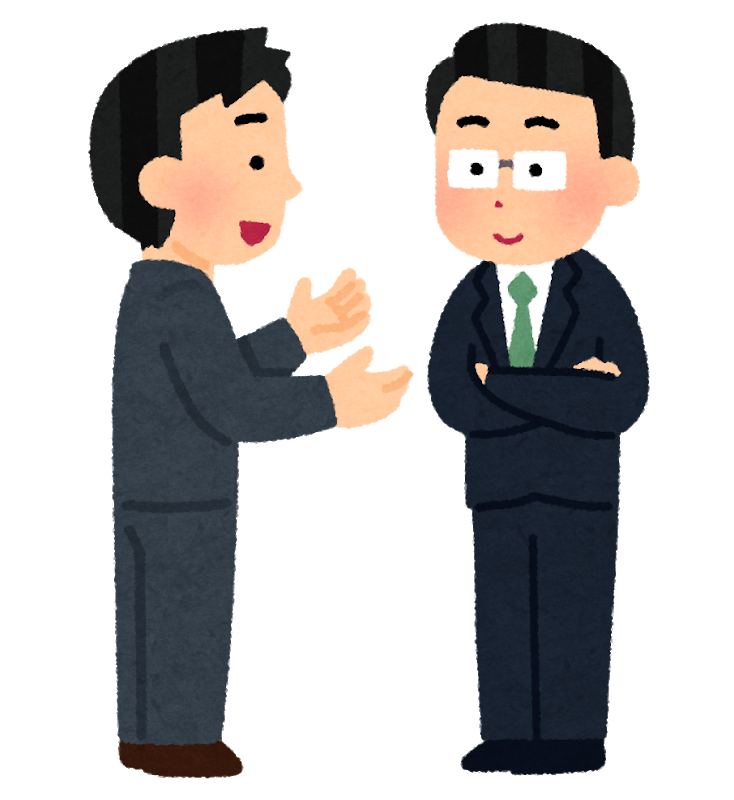
１人でも賛成できない人がいたらグループとして充分議論を尽くしてください。

②論争を避けるための理由だけで、容易な妥協をして、自分の考えを変更しては  
いけない。 何らかの納得のいく理由があれば自分の考えを変えてもよい。

③前に譲ったのだから、今度は譲れというような取り引きをしてはいけない。

④少数意見はグループにとって、決定する障害ではなく、むしろ他のメンバーの  
気づかなかった観点を教えてくれているというように、少数意見も大切に扱う。

⑤各個人の考え方、実情を十分に理解し、学ぶことに心掛けてください。

５．４　「支援者としてあるべき姿」の統一認識と重要行動ポイントの選定

１日目 13:20～15:20 (時間 120分)

（適宜休憩）

一口に「支援者」と言ってもその範囲は広く、管理者の立場、全社の支援事務局の立場、事業所や部の支援担当の立場、課単位の支援者の立場などさまざまです。

**今回のグループ討論は、推進者を直接指導する立場で議論を進めてください。**

これからグループ討論をスムーズに進めていくためには、メンバー全員で、「支援者の

あるべき姿」を再認識し、「やるべき事」を明確にする必要があります。

「支援者のあるべき姿」は、下記に示す内容が言えます。



１．ＱＣサークルが育つ土壌を作る

・関心を示す

・障害を取り除く

２．ＱＣサークルに対する方針を示す

・何を期待しているか

・進むべき方向を示す（道しるべ）

３．ＱＣサークル活動を正しく評価する

・成果金額だけに関心を示さない

・良い点をほめて育てる

(1) 各自で上記の「支援者のあるべき姿」について、招待事例発表や講話の資料を読み返して、グループ全員で、現状・あるべき姿について話し合ってください。

(2) 次に、一人ひとりの考えた「支援者のあるべき姿」を２～３分で話してください。

　　　・ぼんやりとした程度で良いので、理想のあるべき姿を描いてみる。

(3) メンバー各自の考えた「支援者のあるべき姿」を、具体的な行動形で、カード（付箋）に記入してください。

①１枚のカード（付箋）には、１つの「あるべき姿」を記入する。

　　　②全員が、考えつくものを全て書き出す。（一人何枚でもよい）

　　　③カード（付箋）は、「○○が△△である」というように主語＋述語で表現する。

④後で整理するので、カード（付箋）には必ず名前を書いておく。

(4) 書き出した「支援者のあるべき姿」のカード（付箋）を、「支援者としてのあるべき姿の抽出表」に、人別・同じようなグループに層別・整理して貼り付けます。

(5) 貼り付けたら、グループ分けが良いかを確認します。

(6) グルーピングした「あるべき姿」を１つの文章（行動ポイント）で表し、「あるべき姿

を行動形で表現する」の欄に書き出します。

例）ＱＣサークル活動の基本を正しく理解する・・と自分の行動形で表現します。

（例）支援者としてのあるべき姿の抽出表　【Ｂ紙（模造紙）で作成し発表します】



（3）手順

メンバー・・・

（6）手順

グルーピング・・・

(7) グループ全員で書き出したあるべき姿について、全員で話し合い、重要度の重みづけを行い、３つを重要行動ポイントとして選定する。（選定した根拠を記入する）



（7）手順

①グループ・・・

５．５　情報交流会（各コースごと）

１日目　15:20～16:40(時間 80分)

1. 各グループごとにフリーディスカッションを行ってください。
2. 特にお題は決めておりませんので、各社のQCサークル活動についての

困り事など、でも結構ですのでご自由にディスカッションをして情報意見交換を

行ってください。

1. 各グループごとにアドバイザー含め、親睦を図ってください。

５．６　現状の姿と問題点（課題）の明確化

※活動支援マトリックス表の作成

２日目 9:10～10:10(時間 60分)

(1)「活動のステップ」を縦軸に、グループで選定した３つの重要行動ポイントを横軸に記入して「活動支援マトリックス表」を作成します。

(2) 重要行動ポイントのそれぞれについて、グループ全員の「現状の姿」をカード（付箋）に記入し貼りつけます。

(3)「重要行動ポイント」に対する「現状の姿」から「問題点（課題）」をカード（付箋）に記入し、マトリックス表の「問題点（課題）」の欄にカード（付箋）を貼ります。そして、重要行動ポイントごとに２つに絞り込みます。

**※問題点（課題）は、自分自身の責任として表現する。**

　　　　　　会社が動いてくれない。推進者が言うことを聞かない。等の表現はしない。

　　　　　※絞り込んだ問題点（課題）は、分かりやすいように下線等で表示する。

活動支援マトリックス表　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　発表資料３

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 重要行動  ３ポイント  活動ステップ | １．ＡＡのＢＢを  ＣＣする。 | ２．ＪＪのＫＫを  ＬＬする。 | ３．ＭＭのＮＮを  ＯＯする。 |
| 現状の姿 |  |  |  |
|
|
| 問題点  （課題）  ２つに絞り込む。 |  |  |  |
| やるべき事  (方 策)  絞り込んだ２つの問題点ごとに１つを洗い出す |  |  |  |

５．７　支援者として「やるべきこと(方策)」の洗い出し

２日目 10:10～11:10(時間 60分)

次に、絞り込んだ問題点（２つ）について、支援者として「どんなことをしなければならないのか」を、下記の４つの角度から検討し、やるべきことを洗い出します。

① これまで自分がやってきた事柄、現在やっている事柄

② 他社の活動推進事例から学んだ事柄

③ 本研修会での「講話」の中で学んだ事柄

④ これからやろうとしている事柄、また将来にかけてやってみたい事柄

(1) 討論の進め方は、①から順次自分の意見カード（付箋）に記入し、読み合わせをしながら「活動支援マトリックス表」へ整理していきます。

(2) 読み合わせの時、分かりにくいカード（付箋）があれば相互に質問し、分かりやすい表現に書き換えたり、気づいたことがあれば、その場でどんどんカード（付箋）を追加してください。

(3) それぞれ以下の留意点に従って、実際のサークル活動を支援することを念頭に記入してください。

【カード（付箋）記入上の留意点】

● 自由に書くこと。

「誰かがもう書いているだろう」「こんなことは当たり前」

「こんなことを書いては笑われそうだ」などを考えずに記入すること。

● 誰でも判る表現で、具体的に書くこと。

● やり方についての具体的なアイディアを盛り込むこと。

● 1枚のカード（付箋）には、1つの事柄を書くこと。

５．８　活動支援マトリックス表の充実とまとめ

２日目 11:10～12:00(時間 50分)

(1) 配列を終えたら、全員でマトリックス表をチェックする。

「問題点（課題）」「やるべきこと」のステップにおいて、カードの貼り付けが極端に少ないところがあれば、もう一度本当にやるべきことはないのか、検討すること。

また、類似のカードが多くある場合には、もう一度よく検討し整理出来るものは除き、これは重要と考えるものを、目印を付けておきます。

(2) やるべきことの欄にカードを配列したら、グループとして各項目に対して一番やるべきこと（方策）をマジックで枠どりを行い、グループ名など、必要項目を記入して マトリックス表を完成させます。

　　(3) 【発表資料に清書します。】（次ページの見本参照）

最後に、二日間のグループ討議を振り返って発表資料全体をまとめます。

活動支援マトリックス表【発表資料】 グループ名　L

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 重要行動  ３ポイント  活動ステップ | １．ＡＡのＢＢを  ＣＣする。 | ２．ＪＪのＫＫを  ＬＬする。 | ３．ＭＭのＮＮを  ＯＯする。 |
| 現状の姿 | ①・・・・・・  ②・・・・・・  ③・・・・・・・  ・・・・・・・  ⑩・・・・・・・ | ①・・・・・・  ②・・・・・・  ③・・・・・・・  ・・・・・・・  ⑧・・・・・・・ | ①・・・・・・  ②・・・・・・  ③・・・・・・・  ・・・・・・・  ⑨・・・・・・・ |
|
|
| 問題点  （課題）  ２つに絞り込む。 | ①・・・・  ②・・・・  ③・・・・・  ④・・・・・・ | ①・・・・  ②・・・・  ③・・・・・  ④・・・・・・ | ①・・・・・  ②・・・・・  ③・・・・・・  ④・・・・・・ |
| やるべき事  (方 策)  絞り込んだ２つの問題点ごとに１つを洗い出す | ②・・・・・・  ④・・・・・・ | ③・・・・・・  ④・・・・・・ | ①・・・・・・  ③・・・・・・ |

５．９　グループ討論のまとめと発表準備

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２日目　13:00～13:30(時間 30分)

(1) グループ討論の「グループの決め事」と「グループ討論振り返り」を行う。

　　※グループ討論の振り返りは、発表資料４に記入する。

(2) 全員が、今後の活動の「決意表明」を考える。（発表時に全員発言する）

(3) 発表資料に記入洩れがないかを確認する。

５．１０　グループ討論結果の結果発表　講評（代表サークル選出）

　２日目 13:30～14:50(時間 80分)

(1) 発表者がグループ討議の結果を発表し、全員が「決意表明」を一言発言する。

　　 発 表 ７分

　　 一言発言 ４分（全員が決意表明する）

　 　質疑応答 ３分

　　講 評 ２分（アドバイザー）

　　合 計 １６分／グループ

(2) 全グループ発表後に、会場世話人が総合講評を行います。

(3) 合同発表会　出場グループ決定

※1　時間配分はグループ数・状況により変更することがあります。

※2　なんでも相談会は、ありませんので各グループ毎にアドバイザーから

　　　　　　　ご自身のご質問の回答をお聞きください。

５．１１　私のＱＣサークル支援計画書の作成

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２日目　14:50～15:20(時間 30分)

(1) 各自、職場に持ち帰って、即活用できるものにする。

(2) 自分達のグループ以外のものも、じっくり観察する。

(3) 記入上の留意点

① 自分の担当する「サークル」を念頭において書く。

・レベル

・置かれた状況

・メンバー一人ひとりの顔を思いおこして

② 「今後の行動指針」

・これまで学んだことで、「共感」したり「感動」したりして

ヒントになったものを参考にする。

・あくまで自分の実感もこめて

・泥臭く

・簡潔、明快、覚えやすく

　　(4) 作成された「私のＱＣサークル支援計画書」は、本日回収いたします。

　　　　後日、各社の事務局経由で所属上司様に送付させていただきます。

５．１２　合同発表会（グループ討論結果の発表、質疑・講評）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２日目 15:25～16:25(時間 50)

